

タマネギ情報

第1回

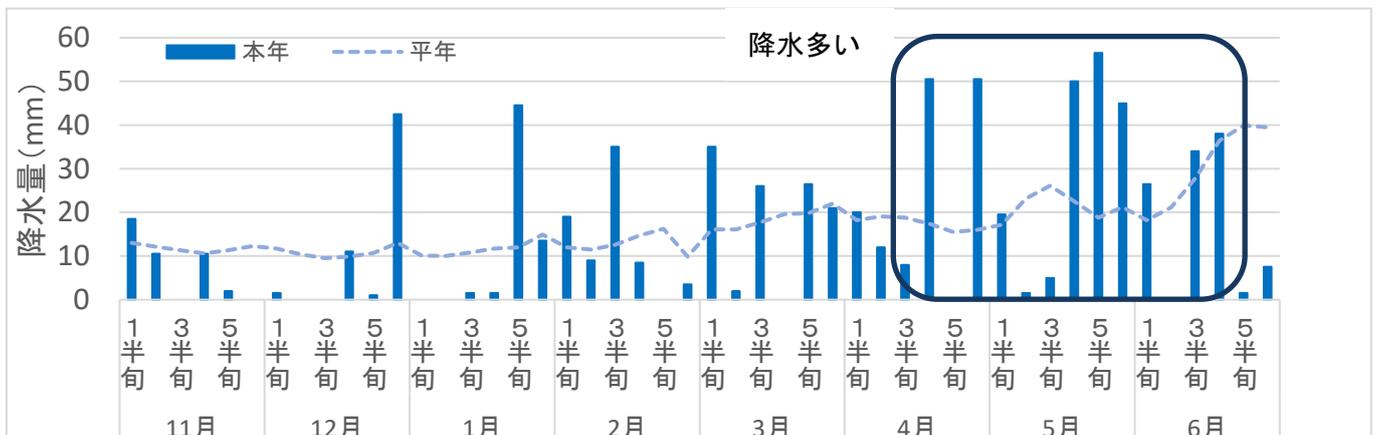
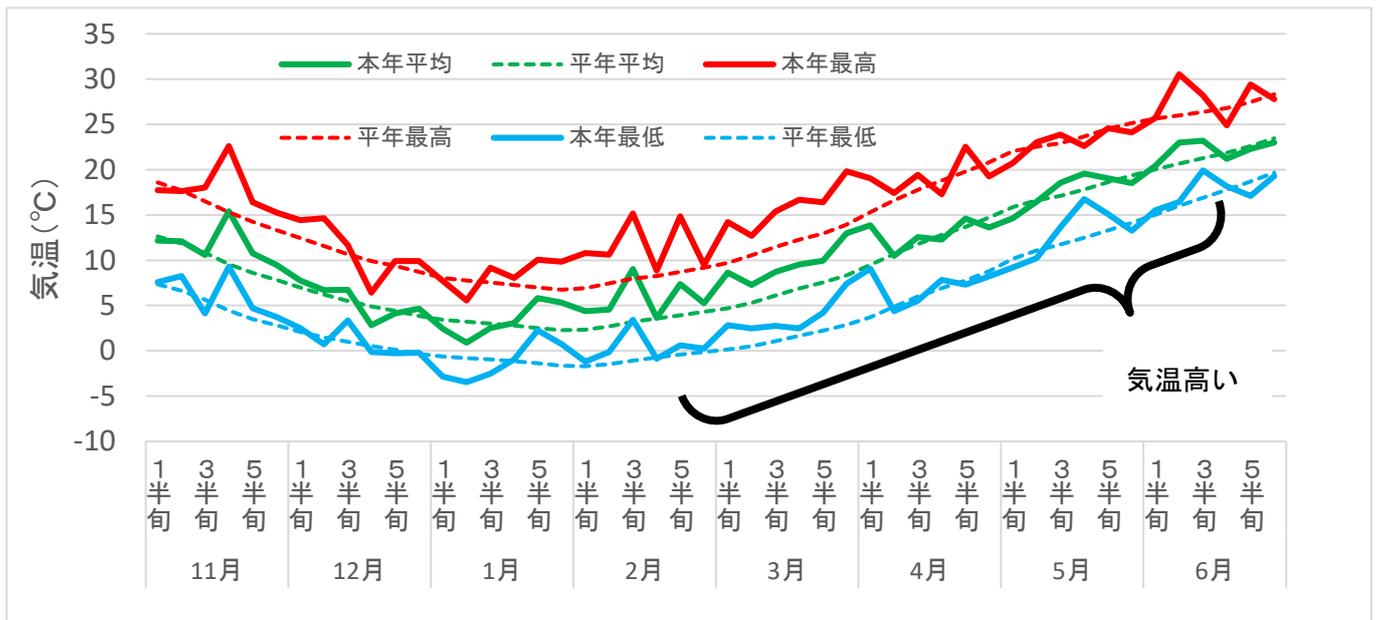
1. 令和3年産の振り返り

気温について

- ・1月上旬は下がったものの、平年より高く推移
→生育が進んだ。

降水について

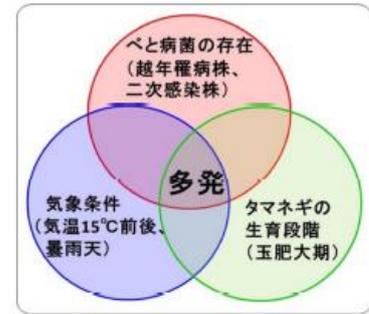
- ・11月から12月にかけて、晴れ間が続く
→概ね適期に定植できたものの、活着は進まず。
- ・4月中旬以降、早期の梅雨入り等により断続的に降雨が続き、平年より降水量が多い
→べと病等の被害が拡大。



2. 病虫害防除

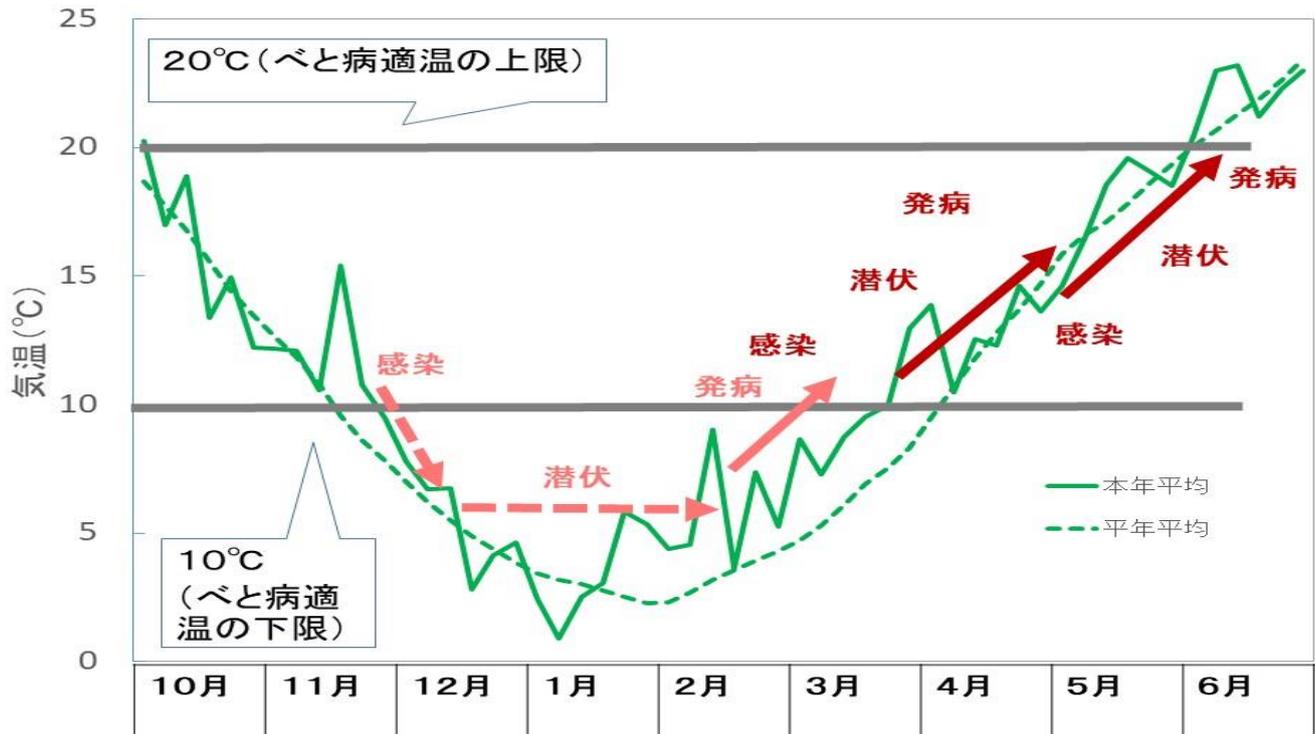
べと病について

- ・カビの一種、卵胞子で土中に残り、分生胞子の飛散で万延
- ・10~20℃前後で感染・発病、15℃前後が適温
- ・春からは降雨や霧による葉面の濡れで感染
- ・肥大期から収穫期にかけてかかりやすい



佐賀県農業試験研究センター、「タマネギべと病防除対策マニュアル」(2019年8月20日)より引用

†



対策について

- ・越年罹病株の抜き取り
- ・定期的な予防散布

令和3年産の病気を抑えた農業者の例

12月	5半旬	アミスター20フロアブル
1月	6半旬	シグナムWDG
2月	5半旬	フロンサイド水和剤
3月	4半旬	シグナムWDG
4月	1半旬	プロポーズ顆粒水和剤
	4半旬	リドミルゴールドMZ
5月	6半旬	アミスター20フロアブル アタッキン水和剤

早春期から防除

肥大期からは少なくとも
2週間に1回の散布

+

治療効果のある薬剤